

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2014年19週 (5月1週 5/5~5/11)

2014年4月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail : eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先 : 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

麻しん・風しん、梅毒、鳥インフルエンザ(H7N9)について、感染症法の一部改正について

定点医療機関コメント

インフルエンザ、感染性胃腸炎、溶血性レンサ球菌感染症、水痘、咽頭結膜熱等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(13)、E型肝炎(1)、アメーバ赤痢(1)、後天性免疫不全症候群(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(3)、梅毒(3)、風しん(1)

2014年4月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

麻しん・風しん(5月14日現在)(図1)

愛知県の2014年の麻しん報告数は、1件増えて30件(0歳3名、1歳4名、2歳以上15歳未満13名、15歳以上10名)で、予防接種歴別にみると、接種歴無22件、有4件、不明4件です。

風しん報告数は13件です。

愛知県では平成26年4月1日から、先天性風しん症候群の発生を抑えるため、妊娠を希望する女性を対象に風しん抗体検査(無料)を開始しました。事前の申請が必要となりますので、「[風しん抗体検査とワクチン接種のお知らせ](http://www.pref.aichi.jp/0000070318.html) (<http://www.pref.aichi.jp/0000070318.html>)」をご確認ください。

【参考ページ】麻しん患者調査事業における麻しん患者発生報告状況

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2014.html

疾患別ウイルス検出情報

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html

麻しん患者の増加について(情報提供及び協力依頼)(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/dl/140415_1.pdf

風しんに関する特定感染症予防指針【平成26年3月28日厚生労働省告示第122号】

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000041928.pdf>

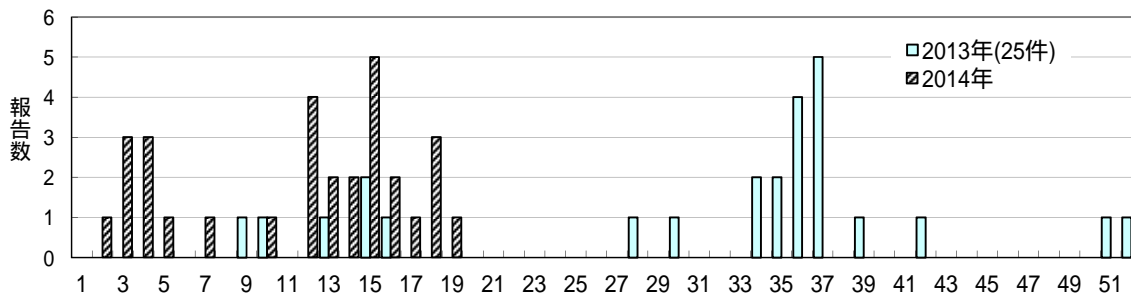


図1 週別麻しん報告数(2013年-2014年5月14日現在、診断週別)

梅毒(図2) (6ページ参照)

2014年19週までの累積報告数は50件です。2013年19週までの累積報告数は18件、2013年総計は54件でした。

【参考ページ】梅毒の発生動向について(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/dl/260430-01.pdf

鳥インフルエンザ(H7N9)について

2013年5月6日に指定感染症に定められた「鳥インフルエンザ(H7N9)」は、指定感染症としての指定期間が1年間延長されました。

【参考ページ】平成26年4月25日付け健感発0425第1号(厚生労働省)

<http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T140425H0060.pdf>

次ページに届出基準改正のお知らせ

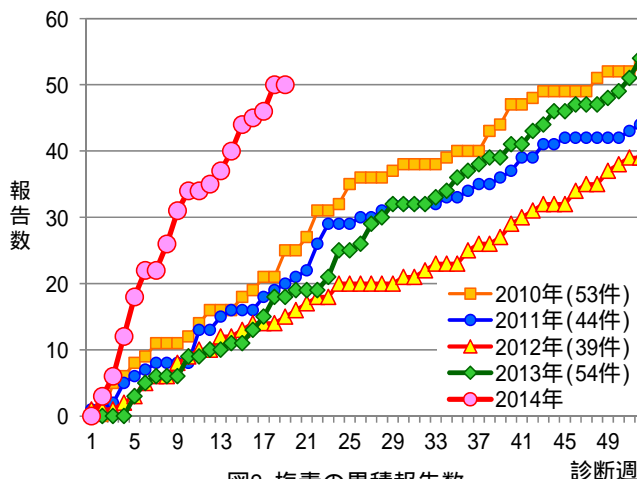


図2 梅毒の累積報告数

(愛知県、2010年-2014年第19週、5月14日現在)

感染症法（「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」）の一部改正について改正の概要は下表のとおりです。届出基準等が2014年5月12日から変更されました。

類 型	疾病名	改正点	改正内容
二類感染症	ジフテリア	定義	定義の変更
		届出基準	検査方法の変更等
五類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	届出基準	検査方法の追加
	先天性風しん症候群	発生届	「出生時の母親の年齢」、「母子手帳等の記録による確認の有無」の記載を追加
	梅毒	届出基準	検査方法の変更
	風しん	発生届	可能な限り24時間以内に保健所への報告を求める旨の記載を追加
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	届出基準	検査方法の変更
	マイコプラズマ肺炎	届出基準	検査方法の変更
二類感染症	急性灰白髄炎	発生届	「ワクチン接種歴」の記載を追加
	ジフテリア		
四類感染症	A型肝炎		
五類感染症	ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)		
	破傷風		

【参考ページ】改正後の届出基準・届出様式等（愛知県衛生研究所）
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

- 溶連菌感染症が目立ちます。
3歳、7歳の姉妹例で、迅速診断陽性ですすでに血尿蛋白尿を認める例あり
妹は発疹のみ 姉はまったく無症状でした。
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- 水痘、溶連菌感染症あり
【一宮市 後藤小児科医院】
- インフルエンザ B型 1名
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
- B型インフルエンザ 2名
A群溶連菌 5名でした。
インドネシア帰りの男性でエロモナス感染の方がみえました。
【犬山市 武内医院】
- インフルエンザ 2名(B型 2名)
感染性胃腸炎の流行続いています。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- 溶連菌感染症、メタニューモ感染散発しています。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 40歳女 インフルエンザA型 1名
54歳男 インフルエンザB型 1名
溶連菌感染症 2名
【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

- 溶連菌 流行みられます。
水痘が目立ちました。
インフルエンザは見られなくなりました。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- ウイルス性胃腸炎がはやりつつあります。
【日進市 みやがわクリニック】
- インフルエンザA型 1名
【長久手市 医療法人水野内科】
- 水痘は根強く残っています。
インフルエンザ 成人6名(A型 2名、B型4名)小児1名(B型 1名)
【春日井市 春日井市民病院】
- 感染性胃腸炎 増加
インフルエンザ 少々
溶連菌 続発中
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- インフルエンザ 4名(成人のみ) A型 2名、
B型 1名、不明1名です。
【小牧市 小牧市民病院】
- ムンプスが増加?
インフルエンザは3例、B型です。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- A型インフルエンザ 1名
【南知多町 医療法人大岩医院】
- 10か月女 アデノウイルス(+)
3歳女 アデノウイルス(+)
4歳女 アデノウイルス(+)
15歳女 インフルエンザB型(+)
6歳男 ロタウイルス(+)
9歳男 ロタウイルス(+)
42歳男 ロタウイルス(+)
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- カンピロバクター腸炎 1名 4歳
【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

- インフルエンザB型 4人
マイコプラズマ 1人
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- 病原性大腸菌O6(+) 12歳男
咽頭アデノ(扁桃炎) 9歳女
インフルエンザはB型 1例
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- インフルエンザB型 1名
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- インフルエンザ感染症 2名 B型
その他特記すべきことはありません。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- インフルエンザB 1名
【知立市 宮谷クリニック】
- インフルエンザA型 1名、B型 1名
【西尾市 西尾市民病院】

東三河地区

- インフルエンザB型 4名
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
- 病原性大腸菌O167 5歳 男
【豊川市 ささき小児科】
- インフルエンザ A型 0名
B型 1名
【豊川市 豊川市民病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2014年5月14日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準(2014年5月12日改正)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun140512.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2014年19週報告数			2014年総計(1～19週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	6	1	2	229	59	55
豊田市				19	3	6
豊橋市	1		1	24	8	4
岡崎市				20	11	3
一宮				48	13	9
瀬戸	1			51	11	16
半田				15	9	2
春日井	1			32	8	5
豊川				18	6	2
津島				10	6	2
西尾	1	1		17	7	4
江南				20	5	5
新城				3	1	1
知多				30	7	7
清須	1			16	3	5
衣浦東部	2	2		31	9	10
合計	13	4	3	583	166	136

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）**E型肝炎（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	名古屋市	27歳	男	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	江南	40歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	37歳	男	AIDS	性的接触	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	3歳	男	不明	国内
2	名古屋市	87歳	男	不明	国内
3	岡崎市	75歳	女	不明	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	40歳	男	無症候	性的接触	国内
2	名古屋市	34歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	西尾	23歳	女	無症候	性的接触	国内

風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊橋市	4歳	男	不明	国内

2014年4月報

(2014年5月14日現在、診断週に基づく集計)

4月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [() は無症状病原体保有者再掲。]

2013～2014年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2014年4月			2014年	2013年
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	103 (21)	47 (14)	150 (35)	565 (130)	1,915 (468)
三類 (5)	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	16 (2)
	腸管出血性大腸菌感染症	5 (1)	1 (0)	6 (1)	10 (3)	211 (58)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
四類 (43)	E型肝炎	0	0	0	0	2
	A型肝炎	2	0	2	7	4
	チクングニア熱	0	0	0	0	1
	つつが虫病	0	0	0	0	4
	デング熱	0	0	0	2	14
	マラリア	0	0	0	1	8
	レジオネラ症	1	1	2	15	64
	五類 (18)	アメーバ赤痢	2	4	6	26
	ウイルス性肝炎	1	0	1	4	16
内訳	B型	1	0	1	3	7
	その他	0	0	0	1	9
	急性脳炎	0	2	2	5	24
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	2	3	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	2	7	8
	後天性免疫不全症候群	1	6	7	30	99
内訳	無症候性キャリア	1	3	4	20	64
	AIDS	0	3	3	10	33
	その他	0	0	0	0	2
	ジアルジア症	0	1	1	1	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症*	1	1	2	5	13
	侵襲性髄膜炎菌感染症*	0	0	0	1	0
	侵襲性肺炎球菌感染症*	10	1	11	45	76
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	2
	梅毒	6	7	13	50	54
内訳	無症候	3	3	6	30	25
	早期顕症	1	4	5	18	24
	晚期顕症	2	0	2	2	5
	破傷風	0	0	0	0	5
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	6
	風しん	1	2	3	13	375
	麻しん	2	11	13	29	25
	総 計	136	87	223	821	3,022

* 2013年4月1日から、5類感染症(全数把握対象疾患)に「侵襲性インフルエンザ菌感染症」及び「侵襲性肺炎球菌感染症」が追加されました。なお、この2疾患()を除く細菌性髄膜炎については引き続き基幹定点把握対象疾患です。同じく5類感染症の「髄膜炎菌性髄膜炎」が「侵襲性髄膜炎菌感染症」に変更されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2014年4月			2014年 累計	2013年 総計
		愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	57	58	115	470	1,746
	性器ヘルペスウイルス感染症	37	18	55	231	707
	尖圭コンジローマ	16	11	27	104	382
	淋菌感染症	20	31	51	214	708
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	79	1	80	382	1,212
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4	0	4	20	84
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	4	9
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

エキノコックス症の犬 (政令第5条に基づく届出)			
診断週	報告保健所	推定感染時期	推定感染原因
4月1週	半田	不明	不明

感染症の類型及び定義(感染症法)

2014年5月12日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起しうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (43疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (44疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症* (1疾病)	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2013年5月6日に指定感染症に定められた「鳥インフルエンザ(H7N9)」は、指定感染症としての指定期間が1年間延長されました。

